

## 事故調査委員会からの報告を受けて

本日、2005年2月24日(木)に発生した重大インシデントについて、事故調査委員会からの報告が公表されました。

スカイネットアジア航空株式会社(本社:宮城県宮崎市、代表取締役社長:藤原民雄、以下SNA)は、今回の報告を真摯に受け止め、今後、同様の事態を二度と起こさぬよう、安全性の向上に一層努めて参ります。

なお、原因が考えられる部品につきましては、全機を対象に既に点検を実施しその安全性を確認いたしております。

当時、当該機の定期便復帰にあたりましては、

1. 機体構造に損傷がないか確認する。
2. 与圧システム関連全ての電気配線に異常のないことを確認する。
3. 与圧システム関連機器をすべて取り卸し、新しい機器と交換する。
4. 交換が完了した後、正常に作動するかと与圧システムの機能検査を行う。
5. テストフライトでシステムの健全性を実証する。

以上の対応を図り、航空局のご了解の下、2005年3月10日に運航を再開いたしております。

また、昨年5月からはANAとの提携により、整備部門のさらなる強化、充実も実施いたしております。

以上